

New Year's Day Service



January 1st, 2026
11:00AM~ (English)
1:00PM~ (Japanese)

**You are free to enter
the temple until 3:00PM**

**15時までご自由に
参拝していただけます**

**初詣
元旦法要**

謹賀新年



Sheppard West駅を降りてすぐ！
TORONTO BUDDHIST CHURCH
A Jodo Shinshu Temple
トロント本願寺（仏教会）



tbc@tbc.on.ca



416-534-4302（土休）

日本語での問い合わせは
駐在僧侶 橋本・杉浦まで



New Year's Eve Ringing Bell

トロント本願寺

除夜の鐘



December 31, 2025
11:30 PM ~

どなた様も1度ずつ鐘について
いただきます

Everyone rings the bell
one time each.



Sheppard West駅を降りてすぐ！
TORONTO BUDDHIST CHURCH
A Jodo Shinshu Temple
トロント本願寺（仏教会）

✉ tbc@tbc.on.ca
☎ 416-534-4302（土休）

日本語での問い合わせは
駐在僧侶 橋本・杉浦まで



祥月法要のお知らせ

祥月法要とは、祥月命日（故人が往生された月のご命日）をご縁として仏法に遇い、阿弥陀さまの仏徳を讃嘆し、報謝の思いでお勤めする法要です。

日時… 十一月二日（日）

十二月七日（日）

（日本語…午前十時四十五分から）

（英語…午前十一時から）



※英語法要のみオンラインでの配信
オンラインでの参拝を希望される方は、その旨を寺院事務所までお知らせください。

zoom link を送らせていただきます。

どうぞ故人が祥月でない方もご参拝下さい。

※四月より日本語の時間を変更しました。

法要後には地下のソーシャルホールにてメンバー同士の交流を楽しんでいただければと思います。

永代経法要のお知らせ

今年の永代経法要は、十一月十六日（日）にトレント本願寺にてお勤めいたします。「永代経」とは「永代読経」という意味で、仏さまの教えを私たちに伝えてくださった多くの方々への感謝をあらわす大切な法要です。ご先祖の供養というよりも、これからもお寺で念仏のみ教えが響き続けていくことを願い、心をこ

めてお勤めいたします。

お寺には「永代経帳」という帳面があり、ご懇志をくださったご家庭や個人のお名前を記録しております。ご家族のお名前が載っているかどうかご確認になりたい方は、どうぞ寺務所までお問い合わせください。

なお本年は、永代経のご懇志をもとに、トレント仏教会八十周年を記念して、内陣用の机を二つ日本より取り寄せる予定です。輸送費が当初の見込みより多くかかっておりますが、皆さまでのお支えによって実現できることに心より感謝申し上げます。

ご懇志のお申し込みは、本号英語版に同封しております申込用紙をご利用ください。どうぞこのご縁をとおして、阿弥陀さまの大きな慈悲の心にふれ、あらためてお念仏とのご縁を深めてまいりましょう。

合掌

橋本顕正



バザー協力のお願い

年次バザーは、お寺を支える大切な募金行事です。コロナ禍以降ボランティアが減り、規模を縮小してきましたが、今年は少しでも以前のような形に近づけたいと願っています。

サイレントオークションやホワイトエレファントへの品物提供、手作りお菓子（特にパイ！）のご寄付、出店やボランティアなど、さまざまな形での協力をお待ちしています。当日の設営・運営・後片付けも人手が必要です。少しでもお手伝いいただける方は、ロビーの申込表、またはメール（tpc@tpc.on.ca 件名「Bazaar Volunteer」）でお知らせください。

また、十一月八日（土）は温かい手作り料理を提供いたします。お持ち帰りも可能です。ぜひお立ち寄りいただき、掘り出し物も見つけてください。



モミジ定例法要の様子

（第2木曜日 10時半～）

※時間変更になっています

佛心

二〇二五年十一月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

見返りを求めない慈悲のこころ



このお便りがお手元に届くころ、お寺では毎年恒例のバザーに向けて準備が本格的に進んでいることでしょう。

昨年の秋から冬にかけては研修でトロントを留守にしていたため、私にとってはこれが初めてのバザーとなります。

少しずつ準備の様子を拝見していると、この行事がどれほど多くの方々のご尽力によって成り立っているかが伝わってきます。料理、飾りつけ、受付、販売、後片付けなどそれぞれが自分の時間と力をお寺のために差し出してくださる。その積み重ねが、バザーという大きなご縁を形づくっています。単なる「イベント」ではなく、お寺を支える多くの温かな行為の集まりなのです。

同時に、このバザーはお寺にとって大切な募金の機会でもあります。法要や学びの場、子どもたちの活動、そして施設の維持管理に至るまで、皆さまのあたたかいご支援によって支えられています。バザーの収益は、これからの寺の歩みを支える大切な力となります。

けれども、この行事は特定の人だけで成り立

つものではありません。
「自分ができること」をそれぞれが差し出すことで支えられています。準備に参加する人、当日に一時間だけ手伝う人、バザーを楽しみに来てくださる人など、そのどれもが尊く、欠かすことのできないお力です。

多くの人がそれぞれの形で時間や技術、心を尽くす姿を見ていると、私たちのお寺を支えているのは、個人の力ではなく、見えないところで働く無数のご縁であることに気づかされます。その相互の支え合いのあり方は、まさに阿弥陀仏のほたらきそのものを映しています。

阿弥陀さまは決して「お返し」を求められません。どんな「ありがとう」も求めずに、すべてのいのちを抱き、浄土に生まれることを保証してください。ですから、阿弥陀さまの慈悲に応えることは義務ではなく、心の奥から自然に湧き上がる感謝のあらわれなのです。

その感謝に応えるとは、阿弥陀さまのよろこばれる生き方をする。恩に報いようとするのではなく、その限らない慈しみの心に調和して生きること。互いにその心を分かち合い、念仏の道とともに歩むこと。その姿が、バザーという形の中に表れているのだと思います。

もちろん、準備の中には疲れや思いどおりにいかないこともあるでしょう。しかし、ふとまわりを見渡せば、夜遅くまで働く人、裏方で支える人、来場を楽しみにしてくださる方、多くの「見

えない努力」があることに気づきます。その一つひとつに目を向けると、自然に「ありがとう」という言葉が心に浮かんできます。

阿弥陀さまの慈悲は、特別な場面にだけあるものではありません。日々の生活の中に、静かに、確かに息づいています。たとえ自分の力が小さくても、みんなで少しずつ持ち寄るとき、それは大きな力となって現れるのです。

私たちは日曜礼拝の最後に「恩徳讃」を歌います。そこには、親鸞聖人の阿弥陀さまの限りない慈悲への感謝と、み教えを伝えてくださった方々への深い報恩の心が込められています。

如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

ほねをくだきても謝すべし

阿弥陀さまは決して、この恩に「報いよ」とはおっしゃいません。しかし、この限りない慈悲に出遇うとき、自然と感謝の心があふれ出します。バザーはその感謝の心が形となったものみなでその喜びを生きる場なのだと思います。

今年のバザーが、ひとりひとりが「ありがとう」を思い出すひとときとなり、お寺を支える温かな輪がさらに広がっていくご縁となりますように。

合掌

トロント本願寺 駐在開教使 橋本 顕正